

かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2015年1月【第21号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

年頭にあたって 2015

穏やかな天候に恵まれ、新たな年を希望に満ち、元気一杯で迎えられたことと存じます。昨年は、皆様のご支援により日々藤沢市議会議員として、力強く活動させていただいたことに心より感謝申し上げます。

正月恒例の箱根駅伝では、青山学院大学がレコードで初優勝を果たしました。母校の日本大学は、残念ながらシード権を失い、来年は予選会からの挑戦となります。なんとか、本選出場を果たしてほしいものです。



本年4月には、藤沢市議会選挙が行われます。2期目の選挙が一番厳しいと言われていますが、何とか皆様のご支援でハードルを乗り越えていきたいと思っております。

議会が身近な存在になるための議会活動報告『貫徹通信』の議会ごとの発行と「ホームページの充実」「勤労者や社会的に弱い立場の視点に立った活動」「私に寄せられる市政課題の解決に向けて、全力でとりくむこと」などを目標に、精一杯努力していきます。

本年も、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

12月議会の主な内容

12月1日から19日まで、12月定例議会が開催されました。主な内容は、衆議院選挙にかかる補正予算、指定管理者の指定、藤沢市市税条例の一部改正、平成26年度藤沢市一般会計補正予算などです。

なお、一般会計補正予算の補正額は、11億1,752万5千円で、補正後総額は1,368億2,221万6千円となりました。私は、市側が提案した全ての議案に賛成し可決されました。

1. 突然の衆議院選挙

11月21日に衆議院が解散し、12月14日に選挙が執行されました。この選挙事務に伴う経費等の支出が必要となり、補正予算を専決処分（市長が地方自治法の規定に基づき、議会の議決・決定の前に自ら処理すること）しました。補正額は、1億5,350万4千円。全て国の負担ですが、市民の税金に変わりなく、このような使われ方に疑問を感じます。そのことは、藤沢市内の投票率53.65%が表していると思います。

2. 競輪事業から撤退へ

藤沢市の競輪事業については、平塚競輪を借り上げて行っていますが、全国的にも特殊な例であり、車券の売上げも減少していることから、競輪事業から撤退し、平塚市と必要な協議と清算をしていくこととなりました。なお、平塚市に支払う解決一時金については、1億1千万円程度を想定しています。私は、時代の流れから適切な判断だと思っております。

3. 市民病院再整備の状況

現在行っている市民病院の再整備事業について、建設費（建設資材・人件費）の高騰に伴い価格スライド（工期内に主要材料費等が急激に上昇し、請負額が不相当となった場合に、価格の変更を請求すること）を適用したことに伴い、総事業費が以下のとおり変更となりました。

【スライド額】 8億802万1千円（スライド率10.59%／消費税8%・諸費用込）

その他、太陽光発電システム設備の追加、特定天井の構造補強等の追加などの追加工事を含めて、総事業費は平成25年12月変更時の95億4,146万8千円から、103億9,412万9千円となりました。

東北復興や2020年に開催される東京オリンピックに伴う資材・人件費の高騰がまだ続いています。新庁舎建設についても総業費が前回示された187億円で収まるのか危惧します。

4. (仮称) 藤沢市エネルギーの地産地消推進計画

エネルギーの地産地消を推進するための「(仮称) 藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」について、そのあらましが示されました。この計画で検討するエネルギー供給システムや手法は次のとおりです。

(1) 再生可能エネルギー

太陽光発電・太陽熱・バイオマス・風力・水力・地熱・海洋エネルギー

(2) エネルギー供給設備

燃料電池・ガスコージェネレーション

(3) エネルギー供給の手法

新電力会社を活用した「市内で生産した電力を市内消費する手法」

私は、藤沢市内での再生可能エネルギーの活用は可能性を追求すべきで、将来的には小電力網による効率的な電力活用が可能なまちづくりの実現を期待します。

5. 公立保育所の土曜日開所時間の変更

保育園の開所時間については、神奈川県条例で1日につき11時間を原則として、保護者の労働時間やその他家庭の状況を考慮して保育所の長が定めると規定されています。公立保育園では、月曜から金曜は7時～18時(18時以降は延長保育)の11時間としていますが、土曜については、昭和45年に7時半～17時(延長保育なし)の9時間30分と定めて以降、ニーズも少なかったことから、時間変更をすることなく現在に至っています。

しかし、来年度からの子ども・子育て支援新制度では、「保育標準時間」を1日につき11時間までとしており、土曜であっても11時間の保育を提供する必要があります。このため、平成27年4月の新制度の開始に合わせて平日と同様に11時間の開所時間とするものです。

6. 市民センター再整備の状況

(1) 善行市民センター再整備

駐車場や平和台住宅敷地の活用を視野に、周辺公共施設の機能集約や複合化の検討を進めています。なお、複合化の検討対象としている施設は、市民センター・公民館・市民図書室・地域包括支援センター・地区ボランティアセンター・放課後児童クラブ・消防出張所・消防分団・善行保育園・善行乳児保育園です。

今後は、平成27年度に建設検討委員会を設置し基本構想を策定後、平成28年度に基本設計を行う予定です。

(2) 辻堂市民センター再整備

高浜中学校の向かいにある県有地と隣接するテニスコート及び道路用地の一体的な整備を視野に、周辺公共施設の機能集約や複合化の検討を進めています。なお、複合化の検討対象としている施設は、市民センター・公民館・市民図書室・地域包括支援センター・地区ボランティアセンター・放課後児童クラブ・消防出張所・消防分団・辻堂青少年会館・辻堂市民図書館です。

今後は、平成27年度に建設検討委員会を設置し基本構想の策定及び県有地にある建物解体手続きを行い、平成28年度に基本設計を行う予定です。

おおや徹 ホームページのご案内

おおや徹ホームページは、開設以来多くの方にご覧いただき、おかげさまで24万回を超えるアクセスをいただいています

議会状況を迅速に報告しているほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを紹介しています。藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

7. 議会報告会が紛糾

11月8日と16日に、湘南台・明治市民センターで議会報告会を開催しました。この議会報告会は、広報広聴委員会の所管であり、私は委員長として企画、運営を担当しました。

これまでの報告会の課題を踏まえて、スクリーンによる分かりやすい説明、日本大学の先生・学生の協力による和やかな雰囲気づくりなどの工夫をし実施しました。しかし、市役所新庁舎建設の建設費について不満のある方々、旧藤沢高校跡地について市に買い戻すよう求める方々の執拗な主張により、報告会は紛糾し一般参加者に不快な思いをさせる結果となりました。

私は、委員長として、このスタイルでの実施に限界を感じました。今後どのような報告会にしていくのかは、次期体制に委ねることとなります。

8. ふじさわのコンセプト・キャッチフレーズが決定

「ふじさわシティプロモーション」のコンセプト・キャッチフレーズが決定しました。シティプロモーションの目的は、都市の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、都市のブランド価値及び都市としての優位性を高め、都市を発展させることです。

それにより「知名度」や「存在感」が向上し、継続的に活性化していくことで、藤沢への誇りや愛着が高まったり、集客力や収益が上がったり、交流・定住人口の増加や地域経済の活性化が見込まれるなどの効果が期待できます。

コンセプト 【好きこそ街の魅力なれ！藤沢！】

キャッチフレーズ 【キュんとするまち。藤沢】

今後は、市民、関係団体、市民団体、企業等(市外も含む)の方々が自由に加入登録できる藤沢の応援組織「ふじさわファンクラブ」を設置し、メンバー自らが藤沢の魅力積極的に発信していきます。右がロゴマークです。



9. 藤沢市ふれあいセンターの耐震診断等調査結果

7月以降に実施してきた、耐震診断等調査の中間報告がまとまり、その内容が示されました。

(1) 耐震診断の結果(震度6~7での危険性)

- ①管理室ゾーン/倒壊、または崩壊する危険性がある
- ②主架構ゾーン/(本体の構造上の骨組み)/倒壊、または崩壊する危険性がある
- ③階段室ゾーン/倒壊、または崩壊する危険性が高い

(2) 今後の対応について

ふれあいセンター利用者の安全確保を最優先し、平成26年12月27日を目途に施設の使用を中止。耐震診断最終報告は平成27年1月を予定しており、この報告を受けて、ふれあいセンターの今後について最終的な決定をしていくこととなります。

貫徹通信のバックナンバーも掲載しています。

アドレス: <http://www.ohya-toru.com/>

おおや徹

検索

クリック

